

Mie Soto Young Priests' Association 青年会だより

第
38
号

発行所：三重県曹洞宗青年会
発行責任者：廣 賞佳 ☎(059)293-0129
三曹青公式サイト <http://sansousei.com/>

三重県曹洞宗青年会

検索



就任挨拶

三重県曹洞宗青年会

第二十八代会長

廣 賞佳



拝啓 管内御寺院様にはますます
ご清祥のこととお喜び申し上げま
す。平素は三重県曹洞宗青年会活動
にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し
上げます。

この度、関係各位のご推薦、ご了
解を賜り三重県曹洞宗青年会第二十
八代会長を拝命させていただくこと
となりました。現在当会は六十一名
を有する団体となつており、優秀な
人材が数多くいる中で選ばれたこと
は身が引き締まる思いでございま

す。歴代の任を全うされてこられ
た先輩諸老師方には到底、力が及
びませんが、ご縁がありお声をか
けていただきことに感謝し、二
年間の任期を務めさせていただき
たいと存じます。

さて、昨年は気象庁が「一つの
災害と認識している」程の暑さ。
また『大阪府北部地震』・『北海道
胆振東部地震』更に西日本を中心
とした『平成三十年七月豪雨』等、
異常気象や災害の多い年となりま

した。また国内外の社会情勢も複
雑化し日々刻々と変化しております。

今、日本では「宗教離れ」「墓じ
まい」等宗教に対しても否定的・悲
観的な意見が多いですが、今こそ
私たちは地域や檀信徒と「共に願
い、共に寄り添い、共に歩んでいく」
時だと確信しております。その中
で、青年僧侶はこの先の見えない
時代に真剣に向き合い、次世代に
つながる活動を担つていきたいと
考えております。青年会活動とし
まして『緑蔭禪の集い』・『月例研
修』・和太鼓集団『鼓司』・『IT事業』
を基幹とし、またボランティア活
動・人権啓発や各曹青とのつなが
りを大切にしていきたいと思つて
おります。さらに二〇二〇年、二
〇二三年にはそれぞれ三重県で東
海管区曹洞宗青年会の小大会・大
大会を控えております。先輩諸老
師方にはご迷惑をおかけすること
も多々あるとは存じますが、何卒
ご理解ご協力のほどお願い申し上
げます。

最後に、一層の仏法興隆と寺門
繁栄を祈念し、就任の挨拶と代え
させていただきます。

合掌

二年間振り返り

第二十七代会長

牧野正人



日の三重県曹洞宗青年会総会を持ちまして会長を退任致しました。皆さまには、日頃より、ひとかたならぬご厚情を賜りましたことに深く感謝を申し上げます。また新たに二十八代目会長に就任を致しました廣賞佳師にも今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

さて、この二年間の中で特に心に残つたことは度重なつた発災でした。とても多くの方々が被災され、中には不幸にもお亡くなりになられた方もございました。また未だに仮設住宅で暮らしている方も多く、まだ完全復興までは至つております。改めて追悼の意を表すとともに、「一日も早い復興を心より願います。私は被災をされ身内を亡くされた年配の男性に「和尚さん、

この度、平成三十年十一月二十日

の底から笑う気持ちには中々なれないよ。けど…皆さんから声をかけてもらうと少しだけ乗り越えるえられそうな気持ちになりました。」と言わされました。

私は自然界の前では無力さを痛感致します。改めて生きるという事は偶然の積み重ねであり奇跡であります。しかし、それは寄り添い、支え合いながら生きてきたからとも言えることだと思います。

私たちちは三曹青の活動を通じて多くの方々にご縁を頂きました。そのお一人お一人の出会いがあつたからこそ半世紀以上も三曹青が継続し成長することが出来たのだと思います。これからも会員一人人が人の気持ちに寄り添い、支え合いながら、少ししづつ復興してきている様子を感じ取れましたが、お手伝い出来ることは沢山ありました。

私たちちは、班に分かれてお手伝いをさせていただきました。活動させていただいたお宅は、一軒家で一階はすべて浸水し、骨組みと基礎だけになつていました。主な作業は庭に残っている瓦礫や家財道具の撤去でした。昼食の際にお話しをさせていただきました。土砂や瓦礫の中には川雨」以外にも日本各地で災害が年々増加

『平成三十年七月豪雨』災害ボランティアに参加させていただいて

於 岡山県倉敷市真備町

今回の『平成三十年七月豪雨』では、広範囲での被害がありました。

真備町にある住職とは修行仲間で、その方のお話のなかで檀家さんも数人亡くなられたそうです。

工具すべてが水に浸かったので、自分が送ることができなかつたところが送っていました。しかし地

会員八名で岡山県倉敷市真備町にて倉敷市社会福祉協議会を通してボランティアに参加させていただきました。まず、ボランティアセンターにてボランティア活動で大事な注意点の説明を聞き、各家庭にバスで移動しました。災害から約二ヶ月が経っていましたので災害当時にテレビで見た道路の脇に並んでいた瓦礫や使えなくなつた電化製品などは撤去され、少しずつ復興してきている様子を感じ取れましたが、お手伝い出来ることは沢山ありました。

私たちちは、班に分かれてお手伝いをさせていただきました。活動させていただいたお宅は、一軒家で一階はすべて浸水し、骨組みと基礎だけになつていました。檀家さんも被災された方が多く檀家数の半分以上は現在避難生活をされているとおしゃっています。

青年会員 坪内 大紀

『平成三十年七月豪雨』以外にも日本各地で災害が年々増加



しているように思います。いつどこでどんな災害が発生するかわかりません。ボランティアに参加していくことが被害の縮小に繋がるのではないかと思います。

最後になりましたが亡くなられた方にご冥福をお祈りし、被災された方に、心からお見舞い申し上げ、一日も早い復興を祈念いたします。



仏法興隆花まつり千僧法要



青年会活動 スナップ



成道会見聞楽（養泉寺）



近畿曹青ソフトボール大会



涅槃会見聞楽（佛光寺）



ボランティア (岐阜県関市)



降誕会見聞楽（薬師寺）



ボランティア (岡山県真備町)



第53回緑蔭禪の集い（海禅寺）

新しい青年会員

近年八名の方々が青年会に入会致しましたのでご紹介いたします。

 二十七教区 来迎寺 小山内 敬一	 二十七教区 祥雲寺 朝日 秀道	 十九教区 円珠院 竹田 透彦	 十七教区 長泉寺 山本 貢大	 十四教区 光徳寺 大島 慶之	 十一教区 寶積寺 朝日 泰裕	 八教区 天華寺 倉田 健吾	 七教区 桐丘寺 大橋 裕雪
--------------------------------	-------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	-----------------------------	-----------------------------

これから先の青年会を担うてまいります。
ご指導の程、宜しくお願い致します。

